

一般質問(要旨)



飯田 智男 議員
自民県政クラブ
常総市選出
分割方式

**圏央道常総IC周辺の
アグリサイエンスバレー構想への支援**

議員 常総市が進めるアグリサイエンスバレー構想は、本県農業の競争力を高め農家の所得向上などにつながる、全国的にも先駆的な計画である。構想推進に当たり県としてどのように支援するのか。
農林水産部長 六次産業化やICTの活用など、当構想は農業改革大綱の内容にも沿うモデル的事例として注視しており、六次産業化プランナーの派遣や各種補助事業の提案、生産技術面の助言など必要な支援を行っていく。



田口 伸一 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出
一括方式

第四次産業革命を視野に入れた産業づくり

議員 現代社会は、IoT※などを活用する「第四次産業革命」の方向に向かっていく。こうした時代の流れを視野に、IoTなどの活用を通じて、新たな産業づくりなどのように取り組んでいくのか。
商工労働観光部長 IoTなどについて、中小企業への普及啓発を進めるほか、模擬スマート工場などでできるか体験していただくことなどにより導入を促進する。また、産学官連携により、新製品開発や新サービスの創出に取り組む。

**常総市水害被災者への
県営住宅優先入居**

議員 関東・東北豪雨災害被災者への応急仮設住宅などの提供が間もなく終了するに当たり、生活再建を後押しする上でも、県営住宅への優先入居など住居確保支援を検討すべきと考えるが、所見は。

土木部長 県営住宅への優先入居制度は被災者の生活再建に寄与する有効な対策の一つと考えることから、常総市とも連携し、被災者のニーズや市の意向に配慮しながら支援策について検討していく。
(ほかに、県道若境線の整備、筑西幹線道路の整備なども質問)



圏央道常総IC周辺
(国土交通省常総国道事務所提供)

鹿島灘沿岸の侵食対策

議員 鹿島灘沿岸の海岸線を保全する侵食対策については、直近の事業実績が落ちてきているが、予算獲得に向けた国への働き掛けを含め、どのように取り組んでいくのか。

土木部長 引き続き養浜事業を実施していくが、東日本大震災による広域的な地盤沈下により養浜量が大幅に増加したため、市町村や関係機関と連携しながら、国に予算の確保を強く働き掛けていく。
(ほかに、仕事と子育ての両立に向けた企業へのアプローチ、病児保育の拡充なども質問)



工業技術センター内に整備された
模擬スマート工場



萩原 勇 議員
いばらき自民党
龍ヶ崎市選出
一括方式

**小中学校における継続的な
体験活動の推進**

議員 地域への愛着や誇りを持つた心豊かな児童生徒を育てるためには、小中学校において、「喜多方市小学校農業科」の先進事例を参考に、継続的な体験活動を推進すべきと考えるが、所見は。
教育長 県では体験活動の充実に特に力を入れている。今後、各学校が体験活動の教育的価値を改めて認識し、積極的に推進が図られるよう、指導・助言するとともに、優れた実践事例を広く発信し、より多くの学校に広めていく。



田村 けい子 議員
公明党
つくば市選出
一括方式

地球温暖化対策

議員 このたび、国の動向などを踏まえ県の地球温暖化対策実行計画を改定すると伺っているが、新たな計画の下で地球温暖化対策に取り組むに当たっての意気込みは。
知事 新たな計画では、産業部門の二酸化炭素排出削減目標を国の約一・五倍となる九%とし、事業所の省エネ対策支援を強化するとともに、家庭での取り組み「いばらきエコスタイル」の普及啓発など、県民総ぐるみによる地球温暖化対策に全力で取り組んでいく。

**一人暮らしの高齢者などへの
地域での見守り強化**

議員 企業などと連携した見守り活動に加え、元気な高齢者や近所の子供たちなどによる地域の見守り体制強化が重要と考えるが、今後どのように取り組むのか。
保健福祉部長 見守りに協力いただける企業などを増やすとともに、幅広い世代の参加に向け、教育機関や老人クラブなどに協力を呼び掛けていく。また、認知症サポートターの活躍の場の拡大にも努める。

(ほかに、東京都との災害時応援協定、円滑な支援物資供給体制の構築なども質問)



小学校における体験活動の様子

**SDGsの理念を踏まえた
教育の推進**

議員 政府が定めたSDGs実施指針では、学校教育をはじめ、あらゆる場でのSDGsに関する学習が推奨されているが、SDGs教育の推進について、所見は。
教育長 SDGsの理念は全世界で共有すべきものだが、まずは学校教育の中での理解促進が必要である。今後は、学校の先進的な取り組み事例などについて周知を図り、持続可能な社会の担い手として行動できる人材を育成していく。

(ほかに、引きこもり対策の強化、本県農業の振興策なども質問)



県立竹園高校でのSDGsに関する
グループワークの様子

**東日本大震災六周年
追悼・復興祈念式典が開催されました**

東日本大震災から六年目の三月十一日、茨城県庁舎九階講堂において東日本大震災六周年追悼・復興祈念式典が開催されました。
参列した藤島議長は、犠牲者への追悼の言葉とともに、「活力ある郷土いばらきの創生に向け、全力を挙げて復興に取り組んでまいりますとともに、災害に強い県土づくりに努めてまいり所存であります」と復興に向けた決意を語りました。



追悼の辞を述べる藤島正孝議長

**国体・障害者スポーツ大会推進
調査特別委員会**

平成三十一年に本県で開催予定である国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うために設置された「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」(海野透委員長)は、これまでに八回の委員会を開催し、活発な議論を行ってきました。
昨年は、七回開催された委員会の審査過程において、各委員や参考人から出された意見などを踏まえ、選手育成・強化や指導体制の充実強化のほか、施設・環境や組織における整備充実など、本県の競技力向上に向けて取り組むべき施策などについて、関係部局に対して提言を行いました。

また、三月に開催された第八回委員会では、競技施設などの整備状況について審査を行うとともに、両大会の成功に向けた課題、対応として、大会の普及啓発および情報発信や県民運動の促進のほか、円滑な開催運営に向けた環境の整備などについて、関係部局から説明聴取を行うとともに、審査を行ったところです。
委員会では今後、スポーツ文化の振興や産業振興、おもてなし活動の展開など、両大会を通じた地域振興策などについても審査を行う予定であり、両大会の成功に向けた諸方策について、引き続き審査を進めてまいります。

ことば ※【IoT】…さまざまなモノがインターネットを通じて接続されること。一般的に「モノのインターネット」と訳される。